

常葉グリーン・プロジェクト 2023 in 浜松キャンパス

7 エネルギーをみんなに
そしてクリーンに



キーワード

SDGs、エネルギー、節電

○取り組んだきっかけ

私たちが暮らしの中で地球温暖化の防止（CO2の排出低減）に協力できることは、一人ひとりがエネルギー使用の無駄を見直して、無理なく節電に取り組むことです。

私は、環境保全やSDGsに関心があり、大学生活で何か活動ができないかと思っていたなかで、学友会が「常葉グリーン・プロジェクト」の取り組みを実施していることを知りました。これは、常葉大学が持続可能な社会の実現に貢献する活動として取り組んでいるものでこの活動に参加し、自らが省エネを心掛けることはもちろん、キャンパスの学生が環境保全やSDGsについて関心を高めるきっかけになればよいと思いました。

○活動の目的

「節電」という、身近で取り組みやすい行動が、地球規模の問題解決につながることを知ってもらうことです。また、学生と教職員が一体となり、大学全体で持続可能な社会の実現に貢献することを目的にしています。



○具体的な内容

私は自らが「節電」に積極的に取り組む他、学友会として多くの学生に「節電」を意識してもらえよう常葉グリーンプロジェクト強化月間（7月・12月）に以下の活動を行いました。

まず、学生に常葉グリーンプロジェクトの存在を知ってもらい、環境問題に関心と意識を持ってもらうため館内放送を定期的に行いました。放送では「教室使用後は電気・エアコンのスイッチを切ること」や「自習は空き教室ではなく学生ホールや図書館を使用すること」など、私たちがすぐにできる「節電」を呼びかけました。

また、プラカードを持って学生に「節電」を呼びかけながら、電気やエアコンの消し忘れがないか各教室を確認して回りました。7月は毎日見つけていた電気やエアコンの消し忘れが、12月には殆どなくなり、学内に「節電」の意識が広まっていることが実感できました。

他にも「節電」を呼びかけるポスターを作成し、教室内の電源スイッチ付近などの各所に掲示したり、クラブ活動での消灯限度時間などのルールを決め省エネを心がけてもらえるようにしました。



○期待される効果

7月と12月の強化月間が終わってからも、教室移動の際に消灯確認等を行っていますが、電気やエアコンがつけっぱなしの教室は少ないままです。

これは、常葉グリーンプロジェクトにより、学生に「節電」の意識が広まったからだと考えます。

この意識を定着させるため、今後も「節電」の呼びかけや消灯確認を継続したいです。

繁田 香凜

健康プロデュース学部

健康栄養学科 1年

浜松キャンパス学友会 所属



連携先

- ・ 常葉大学浜松学生課
- ・ 常葉大学浜松キャンパス